

子どもの学習・生活支援事業 まなぶーすについて

子どもの学習・生活支援事業 まなぶーすについて

平成27(2015)年度より、NPO 法人青少年自立援助センターが板橋教室を受託・運営。

平成29(2017)年度に志村教室を開設。

当初より学習支援と居場所支援(食育支援、学び・体験合宿含む)を実施し、学習支援の対象を小学校6年生～中学3年生(+高校受験を目指す者)とし、各教室定員50名、居場所支援を小学校1年生～18歳まで(定員なし)とし、運営。令和4年(2022)年度より、学習支援の対象を高校生年代へと拡充し、オンラインでの学習支援も実施。

登録のきっかけは生活保護のケースワーカーをはじめ、教育支援センター(SSW)、子ども家庭支援センター、児童相談所(北区含む)、在籍校の担任や養護教諭、母子支援施設、児童養護施設からの紹介、保護者のロコミ、子ども同士での共有、等。

1. 両教室の登録者数と内訳、支援実績

・板橋(区役所前)教室の学習支援は月曜日～土曜日の17時～19時45分(週6日開所)

居場所支援は月曜日の11時半～19時45分

・志村(西台)教室の学習支援は火曜日～土曜日の17時～19時45分(週5日開所)。

居場所支援は土曜日の11時半～19時45分

	2021年度		2022年度(～11月)	
	板橋教室	志村教室	板橋教室	志村教室
登録者	55	64	44(42)	61(56)
小学1～5年	4	11	1	11
小学6～中学3年	33	39	35(33)	34(30)
高校生	18	14	8	16(15)
不登校	5	17	5	14
生活保護世帯	18	32	14	23
困窮世帯	37	32	30	38

支援実績

相談支援	51	51	56	45
学習支援	1,039	1,076	1,198(28)	698(16)
居場所支援	399	469	83	230

2. 職員数（両教室の計）

常勤職員4名、アルバイト12名、学習ボランティア27名

3. 2022年度登録者の登録時に聞き取った登録者が抱える課題（複数回答）

※両教室分を合わせた数

登録時に申告があった課題（複数回答）	
ADHD（注意欠陥・多動性障害）	10
LD（学習障害）	6
ASD（自閉症スペクトラム）	6
発達障害の疑い（グレーゾーン）	9
IQが低い（特別支援学級、愛の手帳等）	9
IQが境界域（通級在籍含む）	11
起立性調節障害	4
学習習慣の未定着	50
成績不振	25

4. 活動風景



学び・体験合宿の様子。法人本部の宿泊施設を拠点に、福生市の七夕祭りへの出店やきのこ農園での作業体験。(こちらはコロナ以前のもので、コロナ禍は実施せず。今年度末状況を見ながら実施予定。)



食育の様子。2020～21年度はコロナ禍により実施せず。2022年度6月より再開。



クリスマスツリーの飾りを作成



学生バイトや学習ボランティアの方が時間の合間に作ってくれたハロウィン用お菓子ボックス



重曹の特徴を説明した上での重曹を使った除湿剤づくり。



書道学科の大学生ボランティアが講師を務めた正月の宿題、書初め。※コロナ前のものです。

5. 支援事例

(1) 3きょうだい共に不登校の生活保護世帯

長女：平成29(2017)年6月～令和2(2020年)10月／登録時中学1年生／小学4年生から不登校。教育支援センターから紹介。

次男：平成31(2019)年5月～現在／登録時中学2年生／小学3年生から不登校。
起立性調節障害

三男：令和4(2022)年7月～現在／登録時中学2年生／小学4年生から不登校。
特別支援級在籍。

(2) SSWからの紹介のひとり親世帯

令和4(2022)年7月～現在／登録時中学3年生